

NPO 法人環境市民 理事会 第7期 第7回（通算71回）理事会 議案書

日時：2015年1月16日（金）午後1：00から3：00

場所：環境市民事務局

出席者：上田正幸、風岡宗人、杵本育生、原田紀久子、早瀬昇、牧村好貢、
松田直子

委任状提出者：

議事録係：佐藤

議事録署名人：上田さん、原田さん

■報告事項

1) 主な活動の情報共有（口頭報告）

環境首都創造 政策パッケージ作成、11/5-6 京丹後フォーラム、

2月セミナー／3月公開フォーラム開催予定

グリーンコンシューマー店舗一斉調査

野の塾（市民向け講座）9/14 民主主義と環境問題、9/20 洗瓶工場見学、

9/28 農を暮らしの中へ、10/18 身近な草花、樹を知る

11/14ESDセミナー、11/16 リニアって本当に大丈夫？

その他 ワクワクお茶会、1/24 京都市主催行事ブース出展予定

議事抜粋

政策活動パッケージをどう収入につなげられるか要検討

2) ファンドレイジングの取り組み状況について（資料1）

gooddoの収入は？

月1万円程度。

Ready forは？

集めるのが大変なので年に1度程度が限度か

ready forは集まりが良いが寄付にならないのが悩ましい

手数料も17%程度、他の手段と検討

3) 臨時社員総会報告

法務局の手続きは大丈夫か

定款変更はなく、大丈夫だと思われるが要確認

3) 現在の事務局体制について (資料2)

杵本さん、下村さんに給与が払える状況が望ましい

事業ベースの支払いや、講師収入等があり、正確には無給ではないが厳しい状況からどうにか脱していきたい。

4) 遺贈寄付募集、講師派遣事業 (資料3)

公益社の香典返しに入れてもらってはどうか

検討する

5) その他

グリーン連合について

6月を目処に結成を目指して動いている

アドボカシースクール

AM ネット神田さんを中心に大学での講義実施を目指して打ち合わせ中

■討議事項

1) 今年度の財政状況および来年度以降の方針 (資料4)

プロジェクトベースでの雇用にしては

有川さん提案

事務所経費等のみにして、スタッフは基本的に自分の仕事を持つ形にして、プロジェクトベースで集まる形にしてはどうか

給料を払って安定した事業が出来るにこしたことはないが、自主事業の収入がないと雇うのは難しいのではないのか。

FOEの様にプロジェクトベースで補助金が取れたら集まる方が現実的か

NPOの人にとっても、何か年金的な保証が必要だが。

環境市民も少しずつ努力はしている

管理費が高い

固定費は極力減らした方が良いのでは。事務所の賃貸料が高いのでは。

シェアオフィスという手もあるか。かなり管理費が安くなる

自主事業を増やすことが必要

どう稼ぐのかという話を考慮してもう少し集中してはどうか。
経営効率を上げるには地域密着型の方が良いのでは。但し、趣旨にあうのか。
エネルギーのパッケージをやるところでお金をとれるか。
継続的な自主事業で採算まで、合わせて考えられるものを延ばした方が良いか。
情報を基本収入につなげられるか
やり方ノウハウを売ることは出来ないか。
タクシー会社にエコ修学旅行の監修をして売ることは可能か
街歩きの講座
環境学習のツールをもっと売れないか
観光に絡む形で設けることを考えてはどうか
京都の生活を体験するパッケージを売ってはどうか

受託事業について

地球環境基金は今年も提出中。
教育リーダー、今年は落ちた。来年も厳しいか。
地方創世事業の中で取れる部分はあるか狙う必要がある。
京都府でも有識者会議で提案を練っている。
5年間として考えられている

その他

年度末寄付も必要か
NLの友好団体送付も必要か確認を

2) 来年度以降の活動について

上と同様

3) 役員改選について (今年6月) (資料5)

代表を複数にしてはどうか

理事としては嘉田先生とか

取りあえず聞いてみてはどうか

KES 関連の方は 松村さん

■確認事項

1) 2015年度通常社員総会の候補日について(6/13、14、20、21あたり)

2) 次回以降の理事会日程決定方法について

日時を固定化すると集まりやすいか

3月、5月を先に調整する